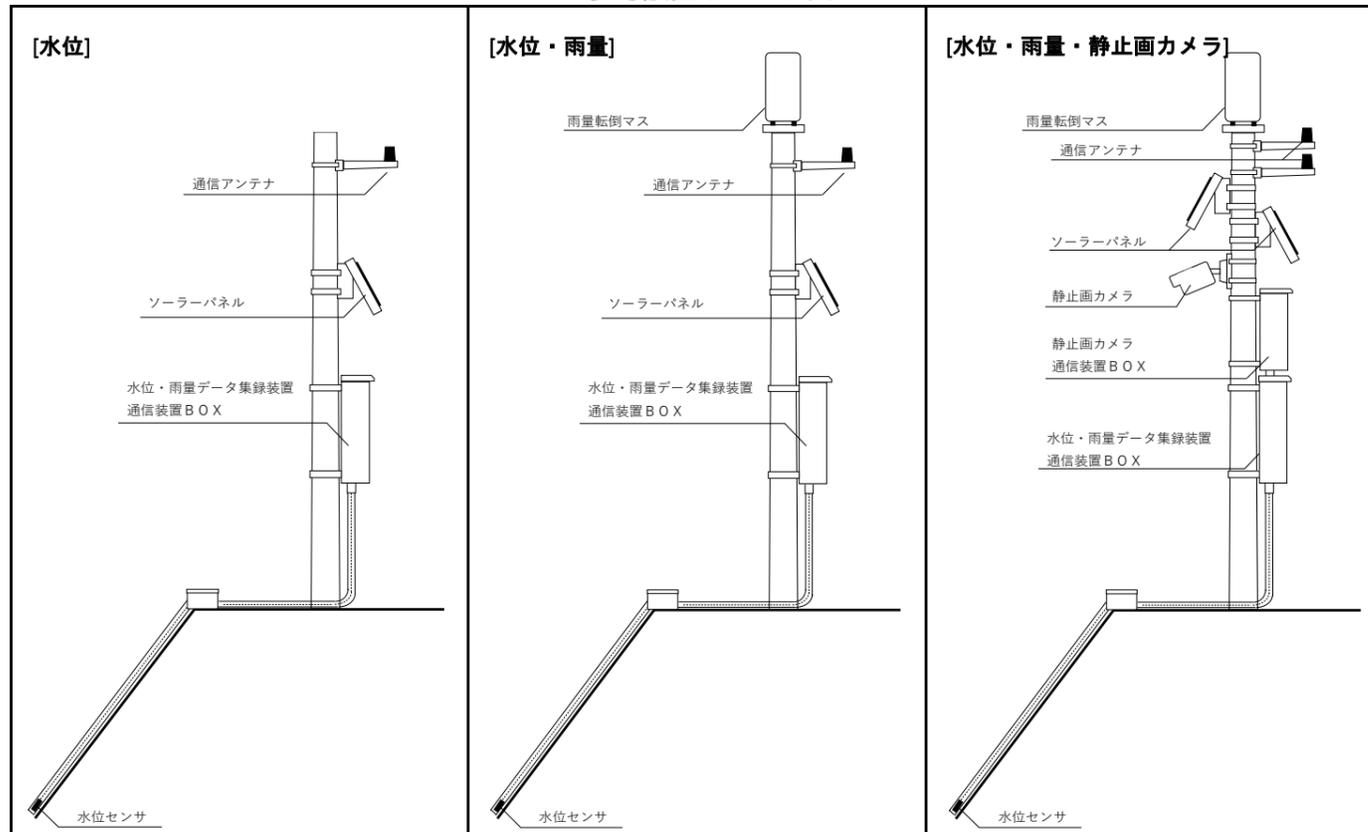


参考設置イメージ図



システムの特徴

◆農水省 「ため池防災支援システム」の特徴

- ・ため池決壊のリアルタイム予測システム
豪雨時、現在時刻から15時間後までのため池危険度をリアルタイムで予測が可能。予測結果は、インターネットを通じ各機関の防災担当者が閲覧可能。防災科学技術研究所の府省庁連携防災情報共有システムと常時接続しており、避難所、道路通行止め情報、災害医療拠点等の情報を取り込み、ため池災害情報と災害情報を重ねて表示が可能
- ・ため池管理者用災害報告アプリ
災害発生時、ため池管理者や自治体職員が現地のため池損傷状態を確認し、画像を送信が可能。緊急点検結果を入力すると、ため池の被災情報を即座に国、自治体等関係機関が共有可能。

◆オサシ・テクノス 「ため池防災システム」の特徴

- ・農水省「ため池防災支援システム」と弊社専用「データ・画像収録ソフト (D-COLLECT (WEB))」へ送信可能。
 - ・静止画像の取り込みが可能。
 - ・水位・雨量・画像データを最短10分間隔で送信が可能。
 - ・自治体様等庁内ネットワークに専用パソコンを準備いただくだけで、ため池管理が可能。
 - ・専用パソコンにて、取得したデータ・画像を自治体様等のホームページにアップしていただければ、ため池周辺の地域住民との連携が可能。
 - ・レンタルサーバーを利用したため池管理も可能。
 - ・通信機内に登録したメールアドレスの端末に、4段階の水位警報メールを発信することが可能。
 - ・通信機内に登録したメールアドレスの端末から、現在水位や現在雨量の確認が容易。
 - ・遠隔地からメール通信にて、機器の設定変更や機器内部のデータを回収することが可能。
- (※ため池からサーバーへの通信費については、お問い合わせください。)

【資料等のお問い合わせ先】

株式会社 **オサシ・テクノス**

未来創造部 東京 03-5510-1392
本社 088-850-0535

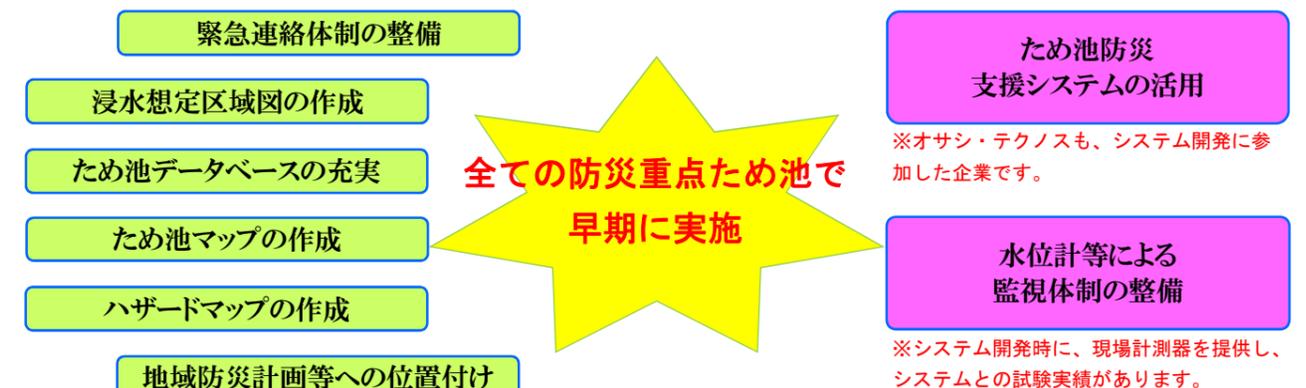
Mail : fc@osasi.co.jp

【SIP成果品】 ため池防災支援システム対応 水位・雨量観測装置



平成30年7月の豪雨災害によりため池の決壊による災害が多く発生し、国が新しく示した基準により「防災重点ため池」が選定されました。選定された防災重点ため池は全国で「63,722箇所」とされています。また、緊急時の迅速な避難行動につなげる対策としては、下記のような対策をあげ、早期に実施に向けた取り組みがスタートしています。(補助金制度あり)

○ 緊急時の迅速な避難行動につなげる対策 ○



「オサシ・テクノスのご提案」

※オサシ・テクノスも、システム開発に参加した企業です。

※システム開発時に、現場計測器を提供し、システムとの試験実績があります。

「ため池防災支援システム」を基本に、地域住民を含めた「ため池防災・減災」へシステムの拡充

